

■カバーの取外し方 △注意 カバーの取外しの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

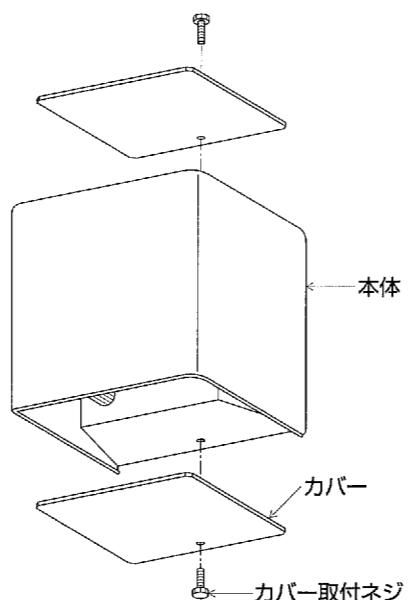
1 電源を切る

2 カバーを取外す

カバー取付ネジをゆるめてカバーを取り外す。

3 カバーを取付ける

カバーを本体に合わせ、カバー取付ネジで取付ける。



■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 布の部分の汚れはハタキでホコリを払ってから乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。変質の原因になるので水拭きしないでください。
- シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

コイズミ照明器具 保証書

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

<保証について>

- 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
- 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器、LED電源・LEDモジュールは3年間です。
- ランプ(LED電球含む)・グローポジション・電池などの消耗品は、対象外といたします。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
  - (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
  - (2) 買い上げ後の取り付け場所の移設・輸送・落下などによる故障及び損傷
  - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電圧(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
  - (4) 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
  - (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
  - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
  - (7) 保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

保証期間(お引き渡し日より)本体:1年間 安定器・LED電源/モジュール:3年間

お買上年月日

お客様 お名前  
ご住所 \_\_\_\_\_  
電話 ( )

取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号

お買上年月日	取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号
お客様 お名前 ご住所 _____ 電話 ( )	

# KOIZUMI コイズミ照明器具

型 番 AB38246L・AB38247L

施工 取扱説明書

保存用

お客様へ 器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。  
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ 施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。  
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

## 【安全上のご注意】

⚠ 警 告			
<b>!</b> 厳守	この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。		
<b>!</b> 禁止	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。		
<b>!</b> 禁止	このような場所には取付けないでください。 この器具は壁取付専用器具です。天井・傾斜天井などには取付けできません。 不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。		
<b>!</b> 禁止	埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものをご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。		
<b>!</b> 禁止	器具と被照射面の距離は表示および説明書に従って取付けてください。 →照射距離が制限より近すぎると被照射物の変質・変色または焼損による火災の原因になります。		
<b>!</b> 厳守	ライトコントローラなどの調光器と組み合わせて使用する際は、必ず当社指定のライトコントローラをご使用ください。 →チラツキ・誤動作の原因になります。		
<b>!</b> 禁止	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。		

⚠ 注 意			
<b>!</b> 接触禁止	この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。		
<b>!</b> 水ぬれ禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。		
<b>!</b> 禁止	この器具は防水ではありません。湿気の多い場所や屋外では使用できません。 →火災・感電の原因になります。		
<b>!</b> 厳守	器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。		
<b>!</b> 禁止	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。		

## ■定格

型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AB38246L・AB38247L	AC100V	0.12A	8.1W	LED

## ■施工前の確認

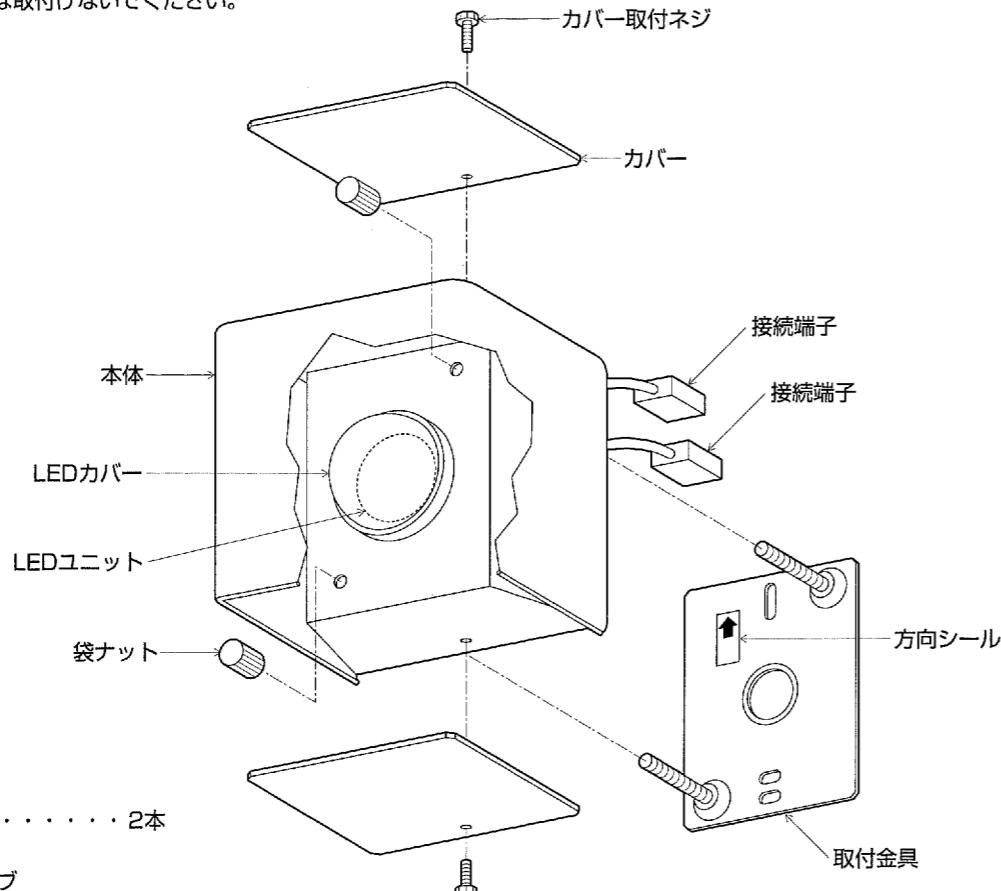
### 1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

### 2 取付面がクロス貼りの場合

接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。  
変色やサビの原因になります。

## ■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。  
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



### 〈付属部品〉

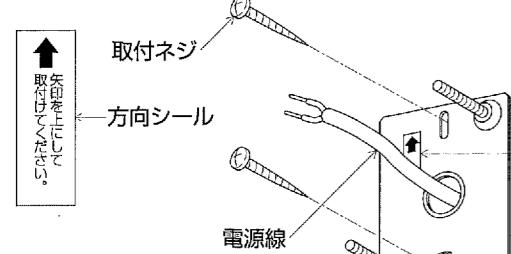
- 取付ネジ···2本
- 保護チューブ  
100mm···2本

### 1 取付金具を取付ける

取付金具に電源線を通し、方向シールの指示に従つて取付ネジで取付ける。

#### △警告 方向シールに従つて取付けてください。

指定方向以外に取付けた場合は火災の原因になります。

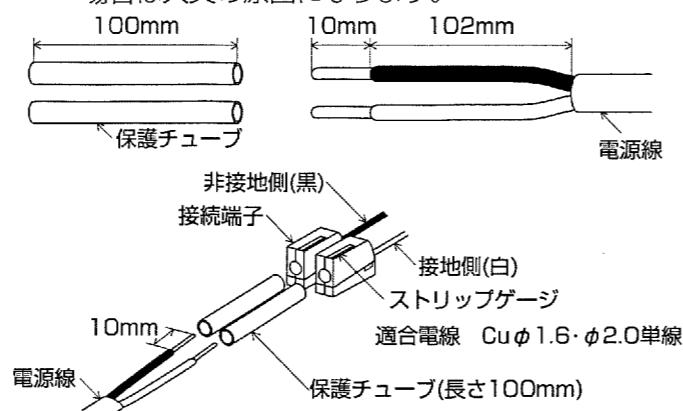


### 2 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、必ず付属の保護チューブに通してから接続端子に確実に差し込む。

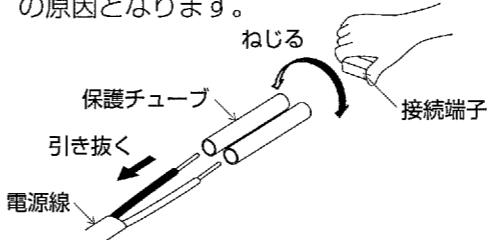
#### △警告 電源の接続を確実に行ってください。

接続が不完全な場合や保護チューブを使用しない場合は火災の原因になります。



## 〈電源線をはずす場合〉

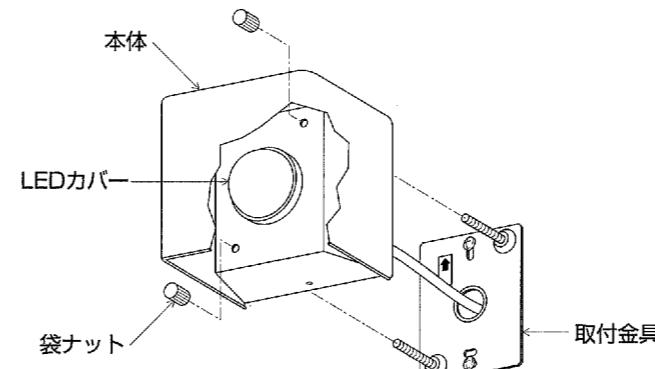
接続端子をねじりながら電源線を引き抜いてください。再結線の際は、傷ついた電源線を切り捨てて新しくむきなおしてから行ってください。曲がったり傷ついた電源線は接触不良、又は火災の原因となります。



### 3 本体を取付ける

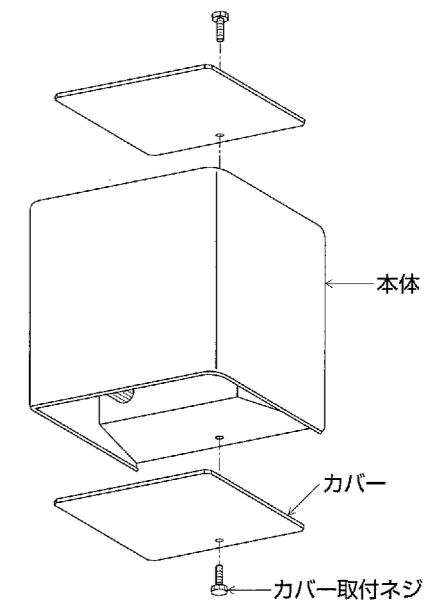
本体を取付金具に合わせ、袋ナットで取付ける。

#### △警告 LEDカバーを外さないでください。 やけどの原因になります。

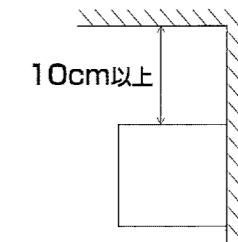


### 4 カバーを取付ける

カバーを本体に合わせ、カバー取付ネジで取付ける。



### 5 点灯の確認を行なう



## ■照射距離について

- 照射距離により天井などの被照射面が変色・変質するおそれがあります。天井などの被照射面との距離は10cm以上離してください。

## !器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

## ■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8~10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。

## ■LEDユニットについて

- 明るさが70%になるまで平均約40000時間です。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。